

## 輸送動向について(10月分)

平成18年11月

## 1. 輸送概況

今月は、上旬に活動が活発化した秋雨前線及び急速に発達した低気圧の影響で、関東から東北地方にかけての太平洋側を中心に大雨・強風による輸送障害が発生した他、下旬には東海道線の踏切支障等が発生し、高速貨121本、専貨3本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を受けた他、季節物資の伸び悩み等もあり、全般的に低調に推移し、輸送量全体では前年比97.4%となった。

コンテナ貨物では、東海・関西地区からの政府米の出荷が好調であった農産品及び堅調な出荷が続く紙・パルプ、ならびに自動車部品、化学工業品などが前年を上回ったものの、化学薬品、エコ関連物資が前年を下回った他、北海道地区の馬鈴薯及び前月の台風13号の被害を受けた九州地区のみかんが減送となった生野菜青果物がやや低調に推移し、コンテナ全体では前年比102.8%となった。

車扱貨物では、石灰石及び化学薬品が前年を上回ったものの、需要に合わせ精製量を調整した影響で減送となった石油の他、セメント、紙・パルプなどが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比87.9%となった。

## 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,079	2,022	102.8%	13,344	12,936	103.2%
車 扱	1,004	1,143	87.9%	7,174	7,676	93.5%
計	3,083	3,164	97.4%	20,519	20,611	99.6%

## 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	121	114	7	106.1%
	生野菜青果物	140	140	0	100.0%
	化学工業品	196	185	11	105.9%
	化学薬品	143	156	-13	91.7%
	食料工業品	285	280	5	101.8%
	紙・パルプ	342	320	22	106.9%
	他工業品	143	135	8	105.9%
	積合せ貨物	232	227	5	102.2%
	自動車部品	58	52	6	111.5%
	エコ関連物資	34	38	-4	89.5%
	その他	385	375	10	102.7%
コンテナ計	2,079	2,022	57	102.8%	
車 扱	石 油	604	664	-60	91.0%
	セメント	81	132	-51	61.8%
	石灰石	72	56	16	127.5%
	車 両	100	126	-26	78.9%
	紙・パルプ	30	46	-16	65.0%
	化学薬品	52	47	5	110.3%
	その他	65	71	-6	91.4%
	車扱計	1,004	1,143	-139	87.9%
合 計	3,083	3,164	-81	97.4%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)

今月より、コンテナの品目のうち、紙パルプ等を紙・パルプへ、積合せ貨物等を積合せ貨物へ、車扱の品目のうち、化学工業品を化学薬品へ変更しました。